

- 令和7年度チャリティキャンペーン 全国で浄財を関係機関へ寄贈..... 2
- 毎年5月は消費者月間
  - 【見える情報 見えない仕組み～ AI時代の消費者力を高めるために～】..... 7
- 令和8年6月1日に令和8年経済センサス-活動調査が実施されます..... 8
- 各地で賀詞交歓会を開催..... 9
- ～月刊テントリ(展示車取引)通信～..... 11
- 時論車論(日刊自動車新聞)..... 12
- 健康問題による労働生産性低下がもたらす
  - 日本の経済的損失と対策の重要性(オリエント総合研究所)..... 14
- 提携損保からのお知らせ..... 16
- 東京モーターサイクルショー 2026
  - J U熊本 交通遺児チャリティ活動を実施..... 18
- J U兵庫 SNSワーキングを立ち上げ、投稿を開始
  - J U香川 古物管理者講習会・封印の取り扱い及び
    - 回送運行許可についての説明会を開催..... 19
  - J U香川 中古自動車販売士研修試験を開催..... 19
- J U三重 チャリティゴルフコンペを開催
- J U中部 第40回青年部大会・第48回経営セミナーを開催..... 20
- J U岡山 青年部×岡山県整備商工組合青年部会
  - 合同研修・交流会を実施
- 委員会の動き..... 21
- 中古車購入検討者ログデータ(カーセンサー)..... 22
- 3月のオークション結果..... 24
- 2月の都道府県別中古車登録・届出台数..... 25
- 3月の新車・中古車登録台数..... 26



## Auction Calendar

オークション日程は変更されることがありますので、事務局に連絡し、確認の上ご参加ください。

札幌	1(金)	15(金)	22(金)	29(金)	011-872-5181	富山	14(木)	21(木)	28(木)	076-434-0040	
帯広	1(金)	15(金)	22(金)	29(金)	0155-37-2578	石川	13(水)	20(水)	27(水)	076-276-9381	
釧路	1(金)	15(金)	22(金)	29(金)	0154-57-9111	福井	19(火)			0776-43-6163	
函館	1(金)	15(金)	22(金)	29(金)	0138-49-2000	滋賀	開催無し			077-585-4136	
室蘭	15(金)	22(金)	29(金)		0143-43-7292	和歌山	開催無し			073-432-7133	
旭川	1(金)	15(金)	22(金)	29(金)	0166-87-4500	京都	開催無し			075-681-8287	
北見	1(金)	15(金)	22(金)	29(金)	0157-36-8115	奈良	9(土)	16(土)	23(土)	30(土)	0743-57-5678
青森	13(水)	27(水)			0172-62-5515	大阪	開催無し				06-6943-8070
岩手	開催無し				019-605-7231	兵庫	開催無し				079-448-2211
秋田	1(金)	15(金)	22(金)	29(金)	018-839-6311	岡山	1(金)				086-281-3300
宮城	1(金)	15(金)	22(金)	29(金)	022-345-1881	鳥取	12(火)				0857-21-6881
山形	23(土)				023-655-4611	島根	22(金)				0853-43-2255
福島	14(木)	21(木)	28(木)		024-591-4821	広島	14(木)	21(木)	28(木)		0826-72-7611
栃木	8(金)	15(金)	22(金)	29(金)	028-648-1181	山口	12(火)	19(火)	26(火)		0835-32-0220
新潟	1(金)	15(金)	22(金)	29(金)	025-362-6666	香川	開催無し				087-881-8831
群馬	14(木)	21(木)	28(木)		027-350-1200	愛媛	開催無し				089-956-4060
茨城	13(水)	20(水)	27(水)		0299-48-1833	徳島	開催無し				088-641-3399
千葉	1(金)	15(金)	22(金)	29(金)	043-257-5257	高知	開催無し				088-866-8400
埼玉	12(火)	19(火)	26(火)		048-798-2111	福岡	1(金)	15(金)	22(金)	29(金)	092-944-1101
東京	11(月)	18(月)	25(月)		048-990-8611	佐賀	開催無し				0952-30-5625
神奈川	14(木)	21(木)	28(木)		0465-37-3751	長崎	13(水)				0957-55-1133
山梨	9(土)	16(土)	23(土)	30(土)	055-279-2552	大分	13(水)	27(水)			097-535-8555
長野	12(火)	19(火)	26(火)		0263-58-3700	熊本	13(水)	20(水)	27(水)		096-279-2700
静岡	12(火)	19(火)	26(火)		054-263-6161	宮崎	21(木)	28(木)			0985-82-3311
愛知	14(木)	21(木)	28(木)		0567-55-2221	鹿児島	1(金)	15(金)	22(金)	29(金)	0995-62-0757
岐阜	2(土)	16(土)	23(土)	30(土)	058-398-5102	沖縄	1(金)	15(金)	22(金)	29(金)	098-935-2525
三重	12(火)	19(火)	26(火)		059-234-8996						

## 令和7年度チャリティキャンペーン

# 全国で浄財を関係機関へ寄贈

JU中販連では、昭和63年から毎年10月1日のユーストカーデーに併せて交通遺児の支援を目的としてチャリティキャンペーンを実施、キャンペーンで集められた募金は交通遺児支援活動資金として役立てられています。

令和7年度のチャリティキャンペーンについても、JUチャリティのぼり、ポスター等を作成しJUショップに募金活動の協力依頼を行いました。併せて、自動車業界に携わるものとして交通事故を撲滅することは悲願でもあり、責務でもあると強く認識し、秋の交通安全運動期間を中心に、交通安全活動を推進しました。

各商組の支援先については、交通遺児だけで

なく車椅子の寄贈や盲導犬育成支援等多岐にわたっていることから、実態に合わせるため、広い意味での社会貢献を目的としたチャリティを行うこととし、各商組の実情に合わせて期間を設定し実施しました。

その結果、全国で募金金額1,809万円(※3月末報告ベース)が集まり各県の関係機関に寄贈されました。

今年度も、業界の全国組織としての社会的責任を果たすべく、組織を挙げて交通遺児支援に取り組んでまいりますので皆様のご協力をお願いします。



JU北見



JU札幌



JU秋田



JU宮城





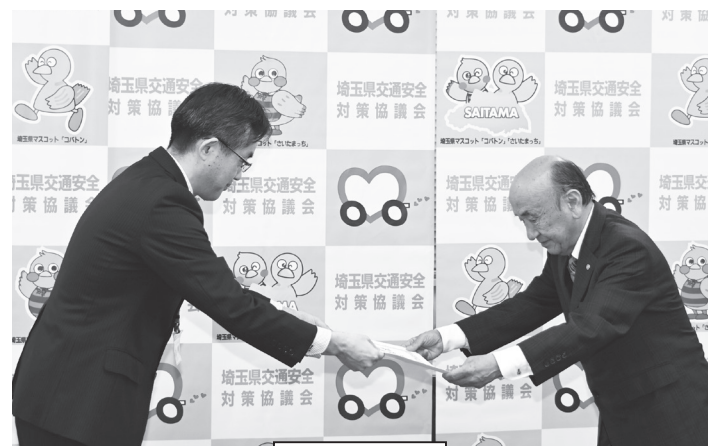
JU山形



JU福島



JU千葉



JU埼玉



JU東京



JU岐阜



JU三重



JU富山





JU石川



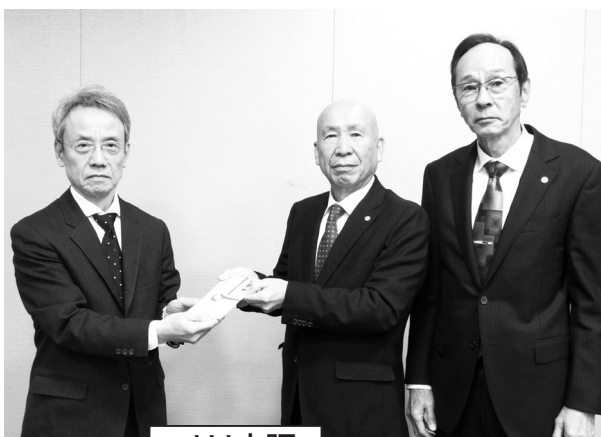
JU近畿



JU京都



JU奈良



JU大阪



JU兵庫

## JU中販連はエコドライブ普及推進協議会のメンバーです。

エコドライブを心がけ地球温暖化に大きな影響を与えるCO2の排出量を減らしましょう!

- ふんわりアクセル「eスタート」  
やさしい発進を心がけましょう。
- 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転  
車間距離は余裕を持って、  
交通状況に応じた安全な定速走行に努めましょう。
- 減速時は早めにアクセルをはなそう  
エンジンブレーキを積極的に使いましょう。



- エアコンの使用は適切に
- ムダなアイドリングはやめよう
- 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう
- タイヤの空気圧から始める点検・整備
- 不要な荷物はおろそう
- 走行の妨げとなる駐車はやめよう
- 自分の燃費を把握しよう

エコドライブ普及連絡会策定  
(警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省)





JU岡山



JU鳥取



JU山口



JU徳島



JU大分



JU熊本



JU宮崎



JU鹿児島



## 2025年度 チャリティキャンペーン実施結果

一部募金予定金額

商組名	実施日時・実施場所	募金方法	寄付先機関	募金金額
札幌	10/1～11/30	店頭フェア・物品A A・募金箱	さっぽろ子ども未来基金 北海道新聞社会福祉振興基金 北海道交通遺児の会	1,215,821
帯広	通年	寄付・募金	十勝交通育英会 盲導犬協会	87,361
釧路			釧路地区交通育英会 北海道盲導犬協会	122,169
函館		募金	北海道盲導犬協会	10,000
室蘭			(公社)北海道交通安全推進委員会 (公財)北海道盲導犬協会	40,000
旭川	4/11	手数料上乘他・物品A A他	北海道盲導犬協会	15,000
北見	8/2	募金箱・寄付	北海道盲導犬協会	15,924
青森	11/4	募金、組合収益	青森県交通安全母の会連合会	125,135
岩手	10/1～12/31 12/9	募金箱、のぼり差益	テレビ岩手「24時間テレビ」	100,000
秋田	6/27～9/26	募金箱、のぼり差益	秋田県交通安全母の会連合会	200,000
宮城	10/1～10/31 9/12	物品AA、募金箱、チャリティゴルフ	大和町 自動車事故対策機構 黒川地区交通安全協会	1,100,000
山形	通年 12/21～	募金箱、物品A A	山形県交通安全母の会連合会	100,000
福島	5/21・8/28	募金箱、物品A A・寄付	福島中央テレビ「24時間テレビ48」 NPO法人パンダハウスを育てる会	614,451
栃木	10/1～11/30 10/3・10/4	募金箱、物品A A 食品回収BOX設置	栃木県	408,100
新潟		募金箱	新潟南区交通安全協会	200,000
群馬	10/1～11/30	募金・手数料上乘	佐藤交通遺児福祉基金	745,000
茨城		募金	茨城新聞文化福祉事業団	320,600
千葉	10/1～10/31	募金箱、手数料上乘	千葉県社会福祉協議会	500,000
埼玉	12月～2月 2/17	募金、その他	埼玉県交通安全対策協議会	348,152
東京	通年	手数料上乘、物品AA、チャリティゴルフ 他	特別養護老人ホーム福祉施設へ車いす 日本赤十字社埼玉支部 日本カーシェアリング協会へ軽自動車1台	1,536,472
神奈川	3/12	募金箱	小田原市社会福祉協議会	214,697
山梨	12/1～12/31	のぼり差益・募金箱	交通遺児育英会 みどり募金	100,000
長野	12/23 7年3月中旬～翌年2月末	物品A A・募金箱	社会福祉法人長野県社会福祉協議会	226,937
静岡	9/2	手数料上乘せ	静岡県立病院機構(子ども病院)	300,000
愛知	3/16	募金箱 チャリティゴルフ・寄付	中日新聞社会事業団 東海交通遺児を励ます会 交通遺児等育成基金 愛知県交通安全協会蟹江支部	1,156,000
岐阜	9/21～11月末	店頭フェア・募金箱	交通遺児基金・交通遺児育英会・市福祉協議会	676,295
三重	12/23 11/29	物品A A チャリティゴルフ	三重県障害者団体連合会(車いす10台)	400,000
富山	通年	組合収益・募金等	(財)交通遺児等育成基金 日本赤十字社	110,000
石川	12/24	寄付・募金	MRO北陸 交通災害等遺児を励ます会	200,000
福井	—	—	—	—
滋賀	5/19	組合収益	公益財団法人 関西盲導犬協会	100,000
和歌山	通年	組合収益	和歌山県交通遺児を励ます会 日本赤十字社	200,000
京都	12/10	募金箱、物品A A等	(公財)京都新聞社会福祉事業団	300,000
奈良	8/9	募金箱、物品A A	大和郡山市	200,043
大阪	通年	募金箱	毎日新聞大阪社会事業団	500,000
兵庫	通年	組合収益	兵庫盲導犬協会 兵庫県へ	900,000
近畿	2/21	募金箱、手数料上乘、物品AA	(公財)毎日新聞大阪社会事業団	176,380
岡山	1/19	チャリティ募金		311,500
鳥取	7/28・11/25	募金箱	鳥取県社会福祉協議会	50,000
島根	6/20	募金箱	島根県被害者サポートセンター	55,600
広島	10/22	物品差益等	未定	50,000
山口	青年部主催記念AA 年3回	募金箱等	防府市社会保険事務所	150,000
香川	通年 テントリキャンペーン中	募金箱・寄付	交通遺児育英会・日本ユニセフ	183,442
愛媛		寄付等	日本カーシェアリング協会 九州豪雨支援活動	100,000
徳島		募金活動・組合収益	徳島の盲導犬を育てる会	253,586
高知	11/18	手数料上乘	公益信託 高知新聞「生命の基金」	30,000
中四国	9/4・3/11	チャリティゴルフ		96,000
福岡	8/31 6/11・10/1	チャリティゴルフ・チャリティバザー収益	西日本新聞民生事業団 自動車事故対策機構	200,000
佐賀	2/7～2/11	共同フェア・募金箱・組合収益	交通遺児育英会	100,000
長崎	2/11～3/11	募金箱	(公財)長崎県育英会 交通遺児奨学事業	100,000
大分	11/1～11/30	募金箱 寄付	大分県交通事故遺児等援護基金	335,038
熊本	9/17	募金箱・物販A A	交通安全協会西原支部・西原村校区小学校(2校)に文房具セット	190,929
宮崎	4/1～1/14	募金箱・物品A A	自動車事故対策機構(交通遺児等育英基金)	124,238
鹿児島	11/21	浄財	鹿児島県交通被災者たすけあい協会	500,000
沖縄	9/21～10/31	募金箱、のぼり差益	沖縄県交通遺児育成会 交通遺児等育成基金 北中城村社会福祉協議会	500,000
九州	8/31	物品A A	自動車事故対策機構 西日本新聞民生事業団	200,000
中販連	中販連交通遺児育成基金	運用益	(公財)交通遺児育英会(日刊自動車新聞寄託) 他	1,000,000
合計				18,094,870



テーマ

# 見える情報 見えない仕組み ～AI時代の消費者力を高めるために～

「消費者基本法(消費者保護基本法の前身)」が昭和43年5月に施行されたことから、その施行20周年を機に、昭和63年以降、毎年5月を「消費者月間」とし、消費者、事業者、行政が一体となって、消費者問題に関する啓発・教育等の事業が集中的に行われています。

デジタル化の進展に伴い、AIなどに使われるアルゴリズムが発展するなど、インターネット上で消費者の選好を踏まえて情報が提供される「仕組み」も変化しており、消費者は商品やサービスに関する情報を容易に入手できるようになりました。

消費者がデジタルの利便性を最大限に享受しつつ、安全・安心な消費生活を営むためには、アルゴリズム

が情報を届ける仕組みやリスクを理解するなど、デジタル社会に必要なリテラシーを高めることは重要です。

今回の月間を通じて、デジタル技術の利活用や情報提供の仕組みに関する基本的な知識を得て、消費者力を高めていきましょう。

その結果、消費者一人一人の選択が「より納得感の高いもの」や、様々な社会課題の解決につながる「エシカルなもの」になっていくと、今よりも明るい消費者の未来につながると考えられます。

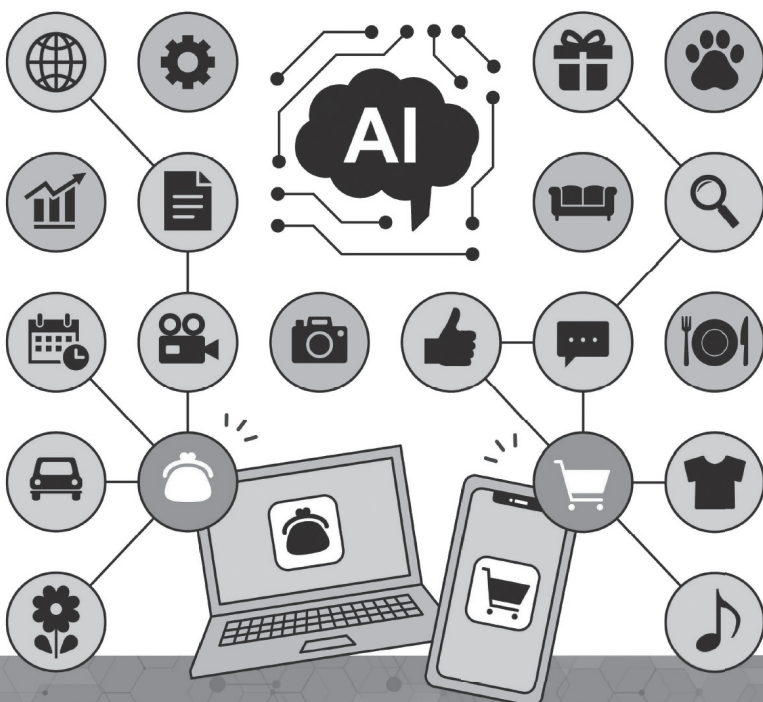
そこで、令和8年度の消費者月間においては、「見える情報 見えない仕組み ～ AI時代の消費者力を高めるために～」を統一テーマに掲げ、集中的な周知啓発を実施していきます。

事業者の皆様おかれましても可能な範囲でこのテーマの使用及びテーマに即した取り組みを実施しましょう。皆様の積極的なご協力をよろしくお願いいたします。



## 見える情報 見えない仕組み

～AI時代の消費者力を高めるために～



5月18日は  
消費者ホットライン  
188の日

消費者庁 消費者ホットライン  
188イメージキャラクター  
イヤモン

### 5月は消費者月間

困ったときは一人で悩まずに、  
「消費者ホットライン」188番に御相談ください。  
身近な消費生活センターや消費生活相談窓口を御案内します。



# 令和8年6月1日に、 令和8年経済センサス- 活動調査が 実施されます

経済センサス-活動調査は、全産業分野の売上(収入)金額や、費用などの経理項目を同一時点で網羅的に把握し、我が国における事業所・企業の経済活動を全国的及び地域的に明らかにするとともに、事業所及び企業を対象とした各種統計調査の母集団情報を得ることを目的とした統計法に基づく基幹統計調査です。

経済センサスにより作成される経済構造統計は、国勢統計(国勢調査)、国民経済計算に準ずる重要な統計として、「統計法」(平成19年法律第53号)という法律に基づいた基幹統計に位置付けられています。調査への回答は「統計法」という法律で義務づけられています。必ずご回答ください。

## 今を知る。未来の力になる。



全国すべての事業所・企業が対象です。

# 経済センサス<sup>↑</sup> 活動調査

経済の  
国勢調査



令和8年  
6月1日

4月～5月にかけて  
調査票をお届けします。



回答はインターネットがおすすめです。



※この調査は統計法に基づく基幹統計調査で、調査に回答する義務があります。ご回答いただいた内容は統計作成の目的以外(他の資料など)には、絶対に使用しません。

<https://www.e-census2026.go.jp/>

経済センサス2026

検索



総務省・経済産業省・都道府県・市区町村からのお知らせです。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

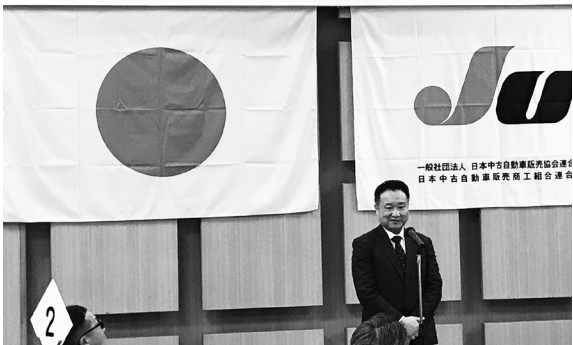
経済センサス-活動調査の結果は、持続可能な開発目標(SDGs)達成に向けた日本の取組の現状を把握するためにも活用されます。



# 各地で賀詞交歓会を開催

新年を迎えて、新年の挨拶や参加者同士の交流のため各地で賀詞交歓会を開催しました。

## 令和8年 JU 帯広 新年懇親会



**JU 帯広**  
1月26日  
ホテルグランテラス帯広



## 旭川地方中古自動車販売事業協同組合 新年



**JU 旭川**  
1月9日  
旭川トーヨーホテル



**JU 東京**  
1月22日  
京王プラザホテル(新宿)







**JU愛知**

1月19日

名古屋マリオットアソシアホテル



**JU大阪**

1月14日

天王殿



**JU岡山**

1月19日

ANAクラウンプラザホテル岡山



**JU広島 令和8年 JU広島新年互礼会 合同支部**



**JU広島**

1月14日

ホリエンタルホテル広島



# ～月刊テントリ(展示車取引)通信～

◆JUテントリは、JU中販連とJUコーポレーションの共同事業です◆

**JUテントリ** 展示車取引

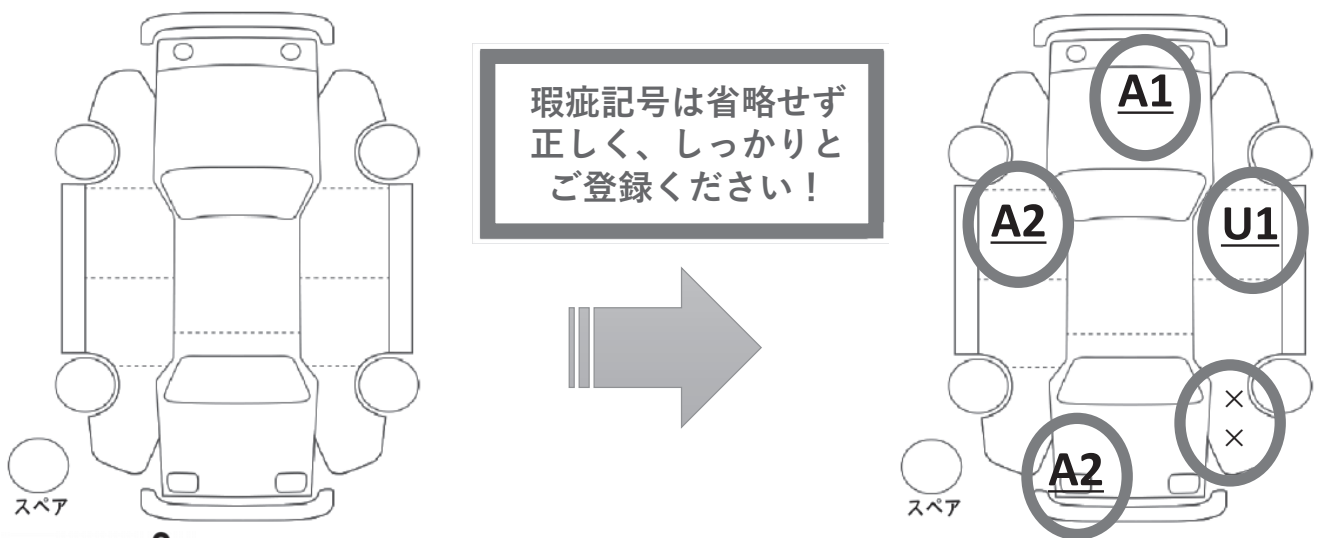
トラブル防止のためにご協力をお願いします。

※ 内外装に関するクレームにご注意下さい！



共有在庫はインターネット取引の為、  
現車確認ができません。

評価点が落ちない場合でも、**記載が必要なレベルの瑕疵**と  
判断させていただいた場合は、**クレーム**となることがあります。



**CHECK!**



例えば、**同じ4点**でも瑕疵記号が正しく**あるのと無いのでは**  
**結果的に評価点の変更がなくても、後のトラブル発生率が大きく違ってきます！**  
**ご注意ください！！**

特に、**フロントガラス飛石にチェックの有無や、外装小キズ小Uの入力の有無など、**  
より現車がイメージしやすいよう出品票の作成をお願いします。

・テントリご利用に関するお問い合わせ先：0120-094-418  
(営業時間は月～土：9時～17時)

ガイドンス

- ①：利用方法、新規入会
- ②：共有在庫やオークションの商談
- ③：書類、名義変更、経理

- ④：継続中のクレーム
- ⑤：搬出・輸送
- ⑥：その他

株式会社 **JU** コーポレーション



## 日刊自動車新聞社

記者 村田 浩子

### 広がるCEV補助金格差。今年度は2段階で補助額変更

4月から電気自動車(EV)の購入費用を一部国が補助する「クリーンエネルギー自動車(CEV)導入促進補助金」の補助額が変更になった。国産車の大半は増額、補助額維持となった一方、輸入車では減額された車種も目立つ。日米関税合意を受けた項目変更の影響だ。通常、補助額の変更は年度に1回だが、今年度は来年1月から補助額が切り替わる“二段階”で見直しをかける予定で、販売現場では混乱を避けるために顧客への説明が重要になる。

現行の国のCEV補助金は、EVは最大125万円(軽EVは55万円)、プラグインハイブリッド車(PHV)は最大80万円、燃料電池車(FCV)で最大145万円まで補助している。車種や生産するメーカーごとに全6項目で評価を行い、その得点に応じて最大7段階で補助額を決め、算出した補助額に「グリーン鋼材」の採用意欲を踏まえて最大5万円を上乗せし、最終的な補助額を決めている。

通常、補助額の見直しは年度に一回、1月から新しい金額が適用されるケースが多かった。しかし昨年、米国が日本のCEV補助金の仕組みを「日本車に有利な制度」と批判し、問題視。日米の関税交渉の議題の一つに挙がり、日本側がCEV補助金を見直すこととなった。その影響で今年は1月と年度が切り替わった4月に補助額を変更し、来年1月にも一部車種で補助額の見直しを予定する異例の事態となった。

評価項目の中で、今回、最も補助額に影響があったのは電池の調達環境だ。電池調達において「経済安全保障推進法に基づく供給確保計画の認定等を受けているか」という新たな項目が加えられた。日本政府の認定を受けた国産電池メーカーから電池を調達していれば評価は上がるが、それ以外のメーカーの電池を搭載していれば大幅に減点される仕組みだ。念頭にあるのは中国の電池メーカーで、該当の電池を載せている車種は減額されたケースが目立った。

トヨタ車やテスラ「モデル3」などは従来の補助額が維持され、満額、ほぼ満額の補助金を受け取ることが出来る。ホンダ、日産自動車、三菱自動車の軽EV、マツダ「MX-30」などのPHVは4月から補助額が上がった。一方、比亞迪(BYD)は補助額が最低基準の「15万円」となり、大幅に減額された。

輸入車の中でもアウディ、BMWなどでは一部車種で来年1月から補助額が増える。また、日本車でも日産「アリア」「リーフ」、スズキ「eビターラ」などは同じく来年1月から補助額が減額される。来年1月から補助額が変わる車種は、今年1月にすでに補助額を変更している車種で、経済産業省は「販売市場の混乱を避けるための経過措置」と説明する。

補助額はユーザーが購入を検討する際の判断基準の一つとなり、「補助額が減るのは厳しい」と嘆く販売店関係者も少なくない。また、BYDオートジャパン(横浜市神奈川区)の東福寺厚樹社長は「(補助額の)決定のプロセスが開示されておらず、対応のしようがない」と制度への不満を漏らす。

CEV補助金は当初、EVの普及を促すための制度だったが、近年は経済安保の側面が強まっており、財源を税金とするその在り方に対し、疑問視する声も挙がっている。持続的なビジネスモデルの構築に向けた、将来的な補助金の出口戦略を描く段階に来ているのかもしれない。



## 2025年度の中古車登録・届け出台数、3年連続プラス 軽が全体を下支え

日本自動車販売協会連合会(自販連、高田靖久会長)と全国軽自動車協会連合会(全軽自協、赤間俊一会長)が4月10日に発表した2025年度の中古車登録・届け出台数は前年比0.6%増の650万7,998台となり、3年連続で前年を上回った。登録車は若干下振れしたものの、新車販売の回復で中古車の流通量が拡大した軽自動車が伸び、全体ではプラスを維持した。

登録車は同0.1%減の363万570台で、マイナスは3年ぶり。軽は同1.5%増の287万7,428台で、2年ぶりに前年実績を上回った。新車も同様に、登録車が同3.5%減の284万5,316台、軽が同3.8%増の168万8,466台だった。代替時に下取りや買い取りが多かった軽が、中古車市場でも勢いがあったようだ。

中古車輸出が増加していることも、登録車が伸び悩んだ要因の一つとみられる。自販連のまとめによると、25年度の輸出抹消は同4.4%増の168万7,027台だった。国内で再販された登録車が少なかった一方、海外に流れた車両が多かったことを裏付ける。

新車の値上げが相次いでおり、割安な中古車の需要は高まっている。ただ、小売り事業者では品不足が深刻になっており、25年度も中古車オークション(AA)などで仕入れ競争が激化した。中古車は当面、旺盛な需要が続くとみられるが、引き続き新車販売の不振が長引けば、26年度も仕入れ競争が過熱する可能性がある。

26年3月の中古車登録・届け出台数は、前年同月比2.5%増の79万6,078台。登録車は同1.2%増の41万4,457台、軽は同3.9%増の38万1,621台だった。

(日刊自動車新聞 2026年4月13日付け)

## トヨタ「ノア／ヴォクシー」のガソリン車廃止 量産ミニバンのHV一本化で電動化加速

トヨタ自動車は、中型ミニバン「ノア」「ヴォクシー」でガソリン車を廃止し、ハイブリッド車(HV)のみを展開する。トヨタは主力車種「カローラ」でもガソリン車を廃止しており、乗用車における電動車比率は6割を超える。量産ミニバンのHV一本化で、国内における電動車比率はさらに高まりそうだ。

5月6日に発売する一部改良モデルで、HVに一本化する。福祉車両にはガソリン車を残す。

ノアとヴォクシーは、同じ車台を利用しつつフロントやリアの意匠を変更した兄弟車だ。2025年度(25年4月～26年3月)の両モデルの合計販売台数は16万2,321台となり、登録車の車名別販売でトップの「ヤリス」(15万4,627台)を上回る販売規模を誇る。トヨタは最量販車種のモデルラインアップをHVに絞ることで電動化を加速する。

トヨタはカローラを25年の一部改良を機にガソリン車を廃止している。「クラウン」シリーズは、22年以降に投入した現行の16代目からHVとプラグインハイブリッド車(PHV)、燃料電池車(FCV)のみを展開している。

政府は35年までに新車販売の100%を電動車とする目標を掲げる。トヨタの25年度の電動車販売比率は65.7%に達した。ノアとヴォクシーでガソリン車を廃止することで電動車比率はさらに高まるが、今後は「GR86」や「GRヤリス」などエンジンがもたらす「走る楽しみ」で商品価値を打ち出すスポーツカーの電動化が課題となる。

(日刊自動車新聞 2026年4月13日付け)

## 今月のテーマ

# 健康問題による労働生産性低下がもたらす 日本の経済的損失と対策の重要性

## プレゼンティーズムによる経済的影響の実態

日本における労働者の健康問題は、想像以上に大きな経済的損失をもたらしています。プレゼンティーズムとは、出勤はしているものの健康上の問題によって完全な業務パフォーマンスが出せない状況を指し、この概念は2000年にスウェーデンのAronssonらによって初めて体系化されました。日本では現在、このプレゼンティーズムが企業経営や国家経済に与える影響が深刻な問題として認識されています。実際、経済産業省の健康経営度調査への回答企業数は年々増加し、令和5年度には3,520社が参加するなど、企業側の強い危機感が表れています。

産業医科大学の永田智久准教授らが2018年に発表した12,350名を対象とした研究によりますと、労働者の健康不調に関わるコスト損失において、プレゼンティーズムによる損失が全体の64%を占め、年間1人あたり約40万7,063円の損失となっています。これに対し、アブセンティーズム(欠勤)による損失は11%(約6万9,287円)、医療費や薬剤費を含めても25%に過ぎません。つまり、表面化しにくい見えない生産性の低下が最も大きな経済的負担となっているのです。

## メンタル不調がもたらす社会的損失

横浜市立大学と産業医科大学の共同研究(2025

年5月発表)では、さらに衝撃的な事実が明らかになりました。全国2万7千人超の調査データを綿密に分析した結果、「気分が沈む」「眠れない」といったメンタル不調を抱えながら仕事を続けることで、日本全体では年間約7.6兆円の経済的損失が生じていることが判明しました。この額は日本のGDPの1.1%に相当し、65歳未満の精神疾患にかかる医療費(約1.1兆円)の7倍以上にも上ります。

プレゼンティーズムによる損失額は約7.3兆円、アブセンティーズムによる損失は約0.3兆円であり、出勤しながら不調を抱える労働者の存在が、社会全体の生産性に甚大な影響を与えていることが初めて全国レベルで金額換算されました。特に20~30代の女性において有症状の報告割合が高く、若年層の働き方改革と健康支援が喫緊の課題となっています。この世代は今後の日本経済を支える中核となる層であり、早急な対策の必要性が示唆されています。

## プレゼンティーズムの主な要因と 日々の変動

大阪大学と東京大学の研究チームは、56名の健康な勤労者を対象に、EMA(Eco-logical Momentary Assessment)というリアルタイムで心身の状態を記録する手法を用いて日々のプレゼンティーズムの変化を詳細に分析しました。



その結果、プレゼンティーズムの悪化には「日中の抑うつ気分」「肩凝りの悪化」「前日の睡眠時間不足」が強く関連することが明らかになりました。

永田准教授らの研究では、労働生産性低下の要因TOP3として、第1位：首の痛み・肩こり(年間損失5万7,684円)、第2位：睡眠不足(年間損失4万5,513円)、第3位：腰痛(年間損失3万5,199円)が挙げられています。これらの症状は一見軽微に思えますが、従業員1,000人の企業では「首の痛み・肩こり」だけで年間約5,768万円の生産性損失につながる計算となります。さらに、これらの症状は相互に関連し合い、慢性化することで更なる生産性低下を引き起こす悪循環に陥りやすいという特徴があります。

### 希少疾患における経済的負担の実態

一方、希少疾患・難病患者(PLWRD)とその家族が負担する経済的コストも深刻です。Alexion, AstraZeneca Rare Diseaseから委託された研究では、64種類の指定難病を対象に調査を実施し、患者1人あたり年間約670万円の経済的コストが発生していることが判明しました。これは日本の所得中央値(350万円)の1.9倍、一般的な慢性疾患患者の6倍に相当します。

日本全体では約180万人の希少疾患患者に対する2024年の超過コストの合計は年間9兆9,000億円と推定され、その内訳は直接的医療コスト44%、直接的非医療コスト44%、間接的コスト21%となっています。さらに深刻なのは、患者の59%が誤診を経験し、診断までに平均2年以上を要している点です。

### 健康経営と対策の重要性

これらの詳細な研究結果は、健康問題による労働生産性の低下が個人の問題ではなく、企業経営に直結する重大な課題であることを明確に示しています。健康経営の推進により、従業員の健康投資を戦略的に実践することで、組織の活性化と業績向上につながることを期待されています。具体的な対策としては、労働者の抑うつ気分や肩凝りの低減、十分な睡眠時間の確保を促す介入・指導が重要です。また、JITAI (Just-in-Time Adaptive Intervention)などの技術を活用し、個人にとって適切なタイミングで適切な介入を行うことで、日々のプレゼンティーズムの改善と労働生産性の向上が期待されます。実際に健康経営に取り組む企業では、離職率の低下、採用競争力の向上、従業員エンゲージメントの向上といった直接的な効果や、投資家からの評価向上にもつながっていることが報告されています。

従業員の健康への投資は、医療費削減だけでなく、イノベーション創出力の向上や顧客満足度の改善といった波及効果も生み出すのです。健康問題による経済的損失の実態が明らかになった今、企業・行政・医療機関が連携し、包括的な健康支援体制の構築が求められています。健康経営は単なるコストではなく、企業の持続的成長と競争力強化のための「投資」として捉え直す時期に来ているのです。

# 東京モーターサイクルショー2026

第53回 東京モーターサイクルショー(一般社団法人日本二輪車普及安全協会主催)が3月27日～29日の3日間、東京ビッグサイトにて開催されました。

出展車両は544台で、ガソリン・電動車両、関連パーツ、アクセサリ等、二輪車ならではのアパレルグッズも数多く出展されました。

また、トークショーやデモンストレーション等の各種イベントも多数開催され、盛り上がりました。3日間の総入場者数は119,266人でした。



## 各県だより

### JU熊本

## 交通遺児チャリティ活動を実施

JU熊本(満田和浩会長)は12月3日に、交通遺児チャリティ活動の一環として大津地区交通安全協会西原支部へ寄附を行い、西羽村役場にて寄贈式を行いました。



左から松岡副会長、満田会長、交通安全協会西原支部・貴田支部長、吉井村長、田島副村長



JU兵庫

# SNSワーキングを立ち上げ、投稿を開始

juhyogo ◯ ⊕ ⊞ ≡



JU兵庫(森本義則会長)は、JU兵庫小売振興委員会にてSNSワーキングを立ち上げ、9月より投稿を開始しました。

座長の福山景悟小売振興委員長をはじめとし、青年部部長や青年部会員、事務局職員がメンバーとなり投稿を開始しています。撮影から編集までワーキングメンバーで行い、毎週末の投稿を目標として投稿をしていますので、是非チェック・フォローをよろしくお願いします。



撮影の様子

インスタグラムの様子

JU香川

## 古物管理者講習会・封印の取り扱い及び回送運行許可についての説明会を開催

JU香川(岡隆夫会長)は11月11日に、香川県自動車技能教育センターにて古物管理者講習会と、封印の取り扱い及び回送運行許可についての説明会を開催しました。



古物管理者講習会の様子



封印及び回送運行許可説明会の様子

## 中古自動車販売士研修試験を開催

また、11月12日には、香川県自動車技能教育センターにて中古自動車販売士研修試験を開催しました。22名が受験し、無事全員合格することができました。



研修の様子

JU三重

# チャリティゴルフコンペを開催

JU三重(奥村悦二会長)は11月19日に、一志ゴルフ倶楽部にてJU三重チャリティゴルフコンペを開催しました。



当日は県内の会員をはじめ、JU各県からも総勢80名が参加しました。今回のチャリティで車を購入し、令和8年2月3日常設会場開設37周年記念ジャンボAAのセレモニーにて三重県障害者団体連合会に寄贈をしました。

JU中部

# 第40回青年部大会・ 第48回経営セミナー を開催

JU中部(奥村悦二会長)は12月2日に、JU中部7県青年部合同ジャンボオークションをJU三重にて開催しました。

出品目標台数1,100台に対し、目標を上回る1,218台の出品で、成約率はオークション終了時点で49.8%となりました。当日のオークションでは特設コーナーとして青年部0円売切りコーナーが設置され、活気あるオークションとなりました。

前日の12月1日には、青年部研修会として、約70名で伊勢神宮を訪問し、拝殿に昇って参拝する「昇殿参拝(正式参拝)」を行いました。また、伊勢神宮の宇治橋前にて集合場所の目印としてマークんの着ぐるみを着ていると、参拝者の人だかりができ、写真撮影などがされました。マークんは大人気となりJUのアピールも同時にできました。



伊勢神宮での集合写真



宮木青年部会長あいさつ



野口代表幹事  
青年部特設コーナー



# 青年部 × 岡山県整備商工組合青年部会 合同研修・交流会を実施

JU岡山(中西信夫会長)は12月8日に、岡山県のピュアリティまきびにて、青年部 × 岡山県整備商工組合青年部会合同研修・交流会を実施し、総勢49名が参加しました。

研修では、「生成AIの活用」をテーマに急速に進化する生成AIの最新動向や、業務効率化・資料作成・コミュニケーション支援など、実務に役立つ活用方法について学びました。

参加者からは「すぐにでも取り入れたい」「業務の見直しのヒントになった」といった声も多く、非常に有意義な時間となりました。

研修後の交流会では、部会の垣根を越えた交流が生まれ、笑顔と活気あふれるひとときになり、今後の連携や情報交換のきっかけとなる、貴重な場となりました。



集合写真

## 委員会の動き

### 令和7年度第5回 総務委員会

日時：令和8年3月23日(月)

出席者：塚田会長・理事長

場所：Web会議

高橋担当副会長／森本委員長(兵庫)／上嶋委員長代理(帯広)／佐藤副委員長(山形)／小田切副委員長(茨城)／相宮副委員長(岐阜)／森岡副委員長(愛媛)／松尾自動車保険推進WG座長(兵庫)／武藤専務理事／永井常務理事／山内理事・事務局次長／事務局

議事：①月刊JU中販連について

②自動車保険推進WGについて



## 2026年3月 カスタマー 問い合わせランキング

Vol.222

Powered by  
リクルート自動車総研

カーセンサーnetにおけるカスタマーの車種別問い合わせ状況を、ランキングデータとして紹介しています。カスタマー(中古車購入検討者)が、今、どんなクルマを求めているのかの参考にご活用ください。

### ■カーセンサー月間問い合わせランキング

毎月の物件問い合わせ数のランキングをボディタイプ別に紹介します。今回は2026年3月のデータです。

#### 第1位は前月に続きホンダ N-BOX(初代)

総合ランキング					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	ホンダ	N-BOX(初代)	→1位	201112	201708
2位	ホンダ	N-BOX(2代目)	→2位	201709	202309
3位	トヨタ	アルファード(3代目)	↑4位	201501	202305
4位	トヨタ	ハイエースバン(現行型)	↓3位	200408	-
5位	トヨタ	プリウス(4代目)	→5位	201512	202211
6位	トヨタ	アクア(初代)	→6位	201112	202106
7位	日産	セレナ(5代目)	→7位	201608	202211
8位	トヨタ	ハリアー(現行型)	↑9位	202006	-
9位	トヨタ	プリウス(3代目)	↑11位	200905	201511
10位	スズキ	ハスラー(現行型)	↓8位	201912	-

トップ2は前月と同じく、1位にホンダ N-BOX(初代)、2位にホンダ N-BOX(2代目)。3位は前月4位からトヨタ アルファード(3代目)がランクアップ。

#### 第1位は前月に続きトヨタ クラウンアスリート(4代目)

セダン					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	トヨタ	クラウンアスリート(4代目)	→1位	201212	201806
2位	トヨタ	クラウン(15代目)	→2位	201806	202310
3位	レクサス	IS(現行型)	→3位	201305	-
4位	スバル	WRX(初代)	↑5位	201408	202111
5位	トヨタ	マークX(2代目)	↓4位	200910	201912

トップ3は前月と同じく、1位にトヨタ クラウンアスリート(4代目)、2位にトヨタ クラウン(15代目)、3位にレクサス IS(現行型)となった。

#### 第1位は前月2位からトヨタ アルファード(3代目)がランクアップ

ミニバン					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	トヨタ	アルファード(3代目)	↑2位	201501	202305
2位	トヨタ	ハイエースバン(現行型)	↓1位	200408	-
3位	日産	セレナ(5代目)	→3位	201608	202211
4位	三菱	デリカD:5(現行型)	↑5位	200701	-
5位	トヨタ	ヴォクシー(3代目)	↑7位	201401	202111

トップは前月2位からトヨタ アルファード(3代目)がランクアップ。2位は前月1位のトヨタ ハイエースバン(現行型)。3位は前月と同じく日産 セレナ(5代目)。



### 第1位は前月に続きスバル レヴォーグ(初代)

ステーションワゴン					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	スバル	レヴォーグ(初代)	→1位	201406	202009
2位	トヨタ	カローラツーリング(現行型)	→2位	201909	-
3位	ホンダ	シャトル(初代)	→3位	201505	202211
4位	スバル	レヴォーグ(現行型)	→4位	202010	-
5位	トヨタ	プロボックスバン(現行型)	→5位	200207	-

トップ3は前月と同じく、1位にスバル レヴォーグ(初代)、2位にトヨタ カローラツーリング(現行型)、3位にホンダ シャトル(初代)となった。

### 第1位は前月に続きトヨタ ハリアー(現行型)

クロカン/SUV					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	トヨタ	ハリアー(現行型)	→1位	202006	-
2位	ホンダ	ヴェゼル(現行型)	→2位	202104	-
3位	トヨタ	ヤリスクロス(現行型)	→3位	202008	-
4位	トヨタ	ライズ(現行型)	→4位	201911	-
5位	マツダ	CX-5(現行型)	→5位	201612	-

トップ3は前月と同じく、1位にトヨタ ハリアー(現行型)、2位にホンダ ヴェゼル(現行型)、3位にトヨタ ヤリスクロス(現行型)となった。

### 第1位は前月に続きトヨタ プリウス(4代目)

ハッチバック					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	トヨタ	プリウス(4代目)	→1位	201512	202211
2位	トヨタ	アクア(初代)	→2位	201112	202106
3位	トヨタ	プリウス(3代目)	→3位	200905	201511
4位	日産	ノート(2代目)	→4位	201209	202011
5位	日産	リーフ(2代目)	↑14位	201710	202509

トップ3は前月と同じく、1位にトヨタ プリウス(4代目)、2位にトヨタ アクア(初代)、3位にトヨタ プリウス(3代目)となった。

### 第1位は前月に続きホンダ N-BOX(初代)

軽自動車					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	ホンダ	N-BOX(初代)	→1位	201112	201708
2位	ホンダ	N-BOX(2代目)	→2位	201709	202309
3位	スズキ	ハスラー(現行型)	→3位	201912	-
4位	ダイハツ	タント(2代目)	→4位	200712	201309
5位	スズキ	ハスラー(初代)	↑6位	201401	201911

トップ3は前月と同じく、1位にホンダ N-BOX(初代)、2位にホンダ N-BOX(2代目)、3位にスズキ ハスラー(現行型)となった。

### 第1位は前月に続きトヨタ 86(初代)

クーペ					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	トヨタ	86(初代)	→1位	201204	202110
2位	トヨタ	GR86(現行型)	→2位	202110	-
3位	ホンダ	CR-Z(絶版)	→3位	201002	201701
4位	レクサス	LC(現行型)	↑10位	201703	-
5位	スバル	BRZ(初代)	→5位	201203	202106

トップ3は前月と同じく、1位にトヨタ 86(初代)、2位にトヨタ GR86(現行型)、3位にホンダ CR-Z(絶版)となった。

### 第1位は前月に続きマツダ ロードスター(現行型)

オープン					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	マツダ	ロードスター(現行型)	→1位	201505	-
2位	マツダ	ロードスターRF(現行型)	→2位	201612	-
3位	マツダ	ロードスター(3代目)	→3位	200508	201504
4位	ホンダ	S2000(絶版)	↑5位	199904	200906
5位	トヨタ	MR-S(絶版)	↑9位	199910	200704

トップ3は前月と同じく、1位にマツダ ロードスター(現行型)、2位にマツダ ロードスターRF(現行型)、3位にマツダ ロードスター(3代目)となった。

## 2026年3月オークション結果

会場	開催数	出品台数		成約台数		成約率 (%)	成約金額(千円)		平均単価(千円)
		合計台数(台)	1回平均	合計台数(台)	1回平均		金額合計	1回平均	
札幌	4	3,489	872	2,624	656	75.2%	908,111	227,028	346
帯広	4	299	75	159	40	53.2%	81,964	20,491	515
釧路	4	427	107	177	44	41.5%	148,960	37,240	842
函館	4	457	114	288	72	63.0%	168,025	42,006	583
室蘭	4	300	75	153	38	51.0%	46,901	11,725	307
旭川	4	179	45	114	29	63.7%	45,502	11,376	399
北見	4	205	51	140	35	68.3%	80,446	20,112	575
北海道	28	5,356	191	3,655	131	68.2%	1,479,909	52,854	405
青森	2	494	247	406	203	82.2%	100,387	50,194	247
岩手(※)	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
秋田	4	521	130	462	116	88.7%	74,796	18,699	162
宮城	4	5,025	1,256	3,983	996	79.3%	1,352,984	338,246	340
山形	2	485	243	341	171	70.3%	89,648	44,824	263
福島	4	4,038	1,010	2,298	575	56.9%	940,778	235,195	409
東北	16	10,563	660	7,490	468	70.9%	2,558,593	159,912	342
栃木	4	2,547	637	884	221	34.7%	277,867	69,467	314
新潟	4	4,151	1,038	2,823	706	68.0%	881,675	220,419	312
群馬	4	3,434	859	1,788	447	52.1%	775,342	193,836	434
茨城	4	2,300	575	1,432	358	62.3%	573,849	143,462	401
千葉	4	5,899	1,475	4,102	1,026	69.5%	2,512,871	628,218	613
埼玉	5	8,368	1,674	4,781	956	57.1%	2,847,028	569,406	595
東京	5	6,030	1,206	2,980	596	49.4%	1,412,807	282,561	474
神奈川	4	2,285	571	1,640	410	71.8%	610,318	152,580	372
山梨	4	223	56	126	32	56.5%	22,728	5,682	180
長野	5	2,317	463	742	148	32.0%	205,384	41,077	277
関東甲信越	43	37,554	873	21,298	495	56.7%	10,119,869	235,346	475
静岡	5	3,375	675	2,145	429	63.6%	562,424	112,485	262
愛知	4	15,767	3,942	12,539	3,135	79.5%	6,361,131	1,590,283	507
岐阜	4	19,365	4,841	9,510	2,378	49.1%	6,842,380	1,710,595	719
三重	5	4,363	873	2,193	439	50.3%	971,830	194,366	443
富山	4	1,716	429	975	244	56.8%	350,312	87,578	359
石川	4	1,544	386	947	237	61.3%	394,417	98,604	416
福井	2	653	327	361	181	55.3%	97,076	48,538	269
中部	28	46,783	1,671	28,670	1,024	61.3%	15,579,570	556,413	543
滋賀	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
和歌山	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
京都	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
奈良	4	1,043	261	703	176	67.4%	262,463	65,616	373
大阪	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
兵庫(※)	4	314	79	28	7	8.9%	38,932	9,733	1,390
近畿	4	1,043	261	703	176	67.4%	262,463	65,616	373
岡山(※)	1	583	583	254	254	43.6%	130,877	130,877	515
鳥取	1	171	171	137	137	80.1%	28,475	28,475	208
島根	1	251	251	186	186	74.1%	43,875	43,875	236
広島	4	4,295	1,074	2,397	599	55.8%	889,625	222,406	371
山口	4	1,337	334	577	144	43.2%	327,001	81,750	567
香川	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
愛媛	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
徳島	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
高知	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
中四国	11	6,637	603	3,551	323	53.5%	1,419,853	129,078	400
福岡	4	5,503	1,376	3,195	799	58.1%	1,012,279	253,070	317
佐賀	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
長崎	1	552	552	389	389	70.5%	63,408	63,408	163
大分	2	861	431	759	380	88.2%	93,322	46,661	123
熊本	3	791	264	468	156	59.2%	90,170	30,057	193
宮崎	3	495	165	398	133	80.4%	80,700	26,900	203
鹿児島	4	1,620	405	882	221	54.4%	239,907	59,977	272
沖縄	4	2,010	503	1,372	343	68.3%	264,964	66,241	193
九州	21	11,832	563	7,463	355	63.1%	1,844,750	87,845	247
全国計	151	119,768	793	72,830	482	60.8%	33,265,007	220,298	457

※ J U岩手、J U岡山の実績は、提携オークションへの協力台数。J U兵庫の実績はJ U岐阜に含まれるため、近畿計及び全国計から除外。



## 2026年2月の都道府県別中古車登録・届出台数

都道府県		登録自動車				軽自動車	登録自動車 軽自動車 合計
		新規	移転	変更	合計		
北海道	札幌	1,820	4,314	507	6,641	5,678	12,319
	函館	219	606	49	874	1,058	1,932
	旭川	368	1,049	123	1,540	1,186	2,726
	室蘭	361	949	107	1,417	725	2,142
	釧路	267	707	89	1,063	767	1,830
	帯広	339	819	78	1,236	739	1,975
	北見	220	576	85	881	655	1,536
	計	3,594	9,020	1,038	13,652	10,808	24,460
東北	青森	593	1,619	188	2,400	2,764	5,164
	岩手	957	1,880	194	3,031	2,954	5,985
	宮城	1,768	3,670	381	5,819	4,919	10,738
	秋田	600	1,185	124	1,909	2,340	4,249
	山形	815	1,419	194	2,428	2,655	5,083
	福島	1,549	3,578	344	5,471	3,938	9,409
		計	6,282	13,351	1,425	21,058	19,570
関東	茨城	3,004	7,803	641	11,448	7,000	18,448
	栃木	1,971	4,681	408	7,060	4,707	11,767
	群馬	1,907	4,952	335	7,194	4,713	11,907
	埼玉	4,340	11,074	813	16,227	9,031	25,258
	千葉	4,501	10,752	735	15,988	7,982	23,970
	東京	5,120	12,378	1,156	18,654	4,609	23,263
	神奈川	4,446	11,196	832	16,474	8,215	24,689
	山梨	689	1,660	160	2,509	2,389	4,898
	計	25,978	64,496	5,080	95,554	48,646	144,200
北陸信越	新潟	1,309	2,927	305	4,541	6,132	10,673
	富山	693	1,524	165	2,382	3,003	5,385
	石川	836	1,582	217	2,635	2,469	5,104
	長野	1,376	3,803	374	5,553	5,998	11,551
		計	4,214	9,836	1,061	15,111	17,602
中部	福井	528	979	163	1,670	2,063	3,733
	岐阜	1,924	3,875	294	6,093	6,244	12,337
	静岡	2,758	6,336	455	9,549	9,908	19,457
	愛知	6,407	14,110	1,104	21,621	12,644	34,265
	三重	1,401	3,610	260	5,271	4,529	9,800
		計	13,018	28,910	2,276	44,204	35,388
近畿	滋賀	869	1,943	151	2,963	3,617	6,580
	京都	1,202	2,676	218	4,096	4,171	8,267
	大阪	4,149	9,051	1,095	14,295	7,586	21,881
	奈良	767	1,790	84	2,641	2,513	5,154
	和歌山	479	1,284	79	1,842	2,877	4,719
	兵庫	3,329	7,497	546	11,372	8,059	19,431
	計	10,795	24,241	2,173	37,209	28,823	66,032
中国	鳥取	339	675	49	1,063	1,666	2,729
	島根	444	765	120	1,329	2,024	3,353
	岡山	1,345	3,180	262	4,787	5,542	10,329
	広島	1,407	3,609	556	5,572	7,110	12,682
	山口	794	2,024	259	3,077	4,085	7,162
		計	4,329	10,253	1,246	15,828	20,427
四国	徳島	539	1,068	89	1,696	2,336	4,032
	香川	700	1,555	181	2,436	2,633	5,069
	愛媛	713	1,725	167	2,605	3,876	6,481
	高知	342	788	59	1,189	2,296	3,485
		計	2,294	5,136	496	7,926	11,141
九州	福岡	3,247	9,178	1,323	13,748	10,606	24,354
	佐賀	595	1,630	132	2,357	2,396	4,753
	長崎	593	1,652	196	2,441	3,555	5,996
	熊本	1,333	3,082	355	4,770	5,685	10,455
	大分	741	1,782	178	2,701	3,769	6,470
	宮崎	700	1,645	162	2,507	3,926	6,433
	鹿児島	983	2,350	317	3,650	5,792	9,442
	計	8,192	21,319	2,663	32,174	35,729	67,903
沖縄	1,927	3,071	211	5,209	7,397	12,606	
全国	80,623	189,633	17,669	287,925	235,531	523,456	

## 3月の新車・中古車登録台数

### 新車登録台数 (ナンバーベース)

(単位: 台、%)

車種	当月(A)	前年(B)	A/B%	本年累計(C)	前年累計(D)	C/D%
普通乗用車	177,775	201,511	88.2	447,399	507,901	88.1
小型乗用車	87,663	86,723	101.1	229,448	231,254	99.2
小計	265,438	288,234	92.1	676,847	739,155	91.6
普通貨物車	16,982	16,886	100.6	39,123	38,362	102.0
小型貨物車	22,067	22,930	96.2	59,492	50,463	117.9
小計	39,049	39,816	98.1	98,615	88,825	111.0
バス	1,489	1,868	79.7	3,016	3,599	83.8
合計	305,976	329,918	92.7	778,478	831,579	93.6

### 中古車登録台数

(単位: 台、%)

車種	当月(A)	前年(B)	A/B%	本年累計(C)	前年累計(D)	C/D%
普通乗用車	222,409	217,433	102.3	520,609	510,717	101.9
小型乗用車	139,914	143,594	97.4	314,605	328,481	95.8
小計	362,323	361,027	100.4	835,214	839,198	99.5
普通貨物車	18,840	17,608	107.0	41,889	43,204	97.0
小型貨物車	23,068	21,373	107.9	53,510	50,644	105.7
小計	41,908	38,981	107.5	95,399	93,848	101.7
バス	1,537	1,491	103.1	2,814	2,912	96.6
その他	8,689	8,075	107.6	19,232	18,310	105.0
総合計	414,457	409,574	101.2	952,659	954,268	99.8

(注)「その他」には、特殊車・特種車等の車種を含む。

### 主要都道府県別 中古車新規・移転・変更登録台数

(単位: 台、%)

主な県	普通貨物	前年比	バス	普通乗用	前年比	小型貨物	前年比	小型乗用	前年比	総合計	前年比
北海道	1,463	91.1	81	11,421	103.7	1,414	108.1	7,629	100.8	22,670	102.3
岩手	228	107.0	21	2,459	105.7	281	120.6	1,954	99.4	5,067	104.5
宮城	470	135.1	28	4,365	104.1	427	97.3	3,163	97.7	8,599	102.3
福島	324	121.8	27	4,347	100.6	388	107.2	3,219	96.4	8,473	100.4
茨城	937	102.4	101	8,149	101.8	925	109.2	5,584	94.7	16,041	100.0
埼玉	1,018	107.0	63	12,466	105.5	1,248	107.4	7,368	98.1	22,727	103.4
千葉	1,001	100.3	108	12,287	103.6	1,144	98.5	6,947	87.0	21,975	97.3
東京	597	87.2	68	15,316	101.3	1,286	108.4	6,776	101.5	24,501	101.0
神奈川	706	103.4	43	13,100	103.4	1,145	108.5	6,753	98.2	22,189	102.1
新潟	286	80.1	26	4,276	109.1	493	122.0	3,142	97.6	8,345	103.7
静岡	568	104.8	28	6,728	98.0	841	126.7	4,827	97.8	13,184	99.8
愛知	1,369	100.8	48	16,014	100.1	1,681	107.3	9,402	100.4	28,976	100.8
大阪	1,099	147.3	102	11,098	103.9	1,459	112.7	6,152	97.9	20,440	104.2
兵庫	687	143.7	45	9,039	98.9	750	102.0	4,866	95.6	15,738	99.8
広島	328	95.3	19	4,287	101.4	374	90.8	2,723	94.5	7,923	98.8
香川	176	116.6	5	1,850	107.9	168	86.6	1,083	91.9	3,353	100.1
福岡	814	119.5	114	10,866	102.7	1,038	109.1	6,354	95.7	19,560	101.1
その他	6,769	107.7	610	74,341	101.9	8,006	108.2	51,972	98.2	144,696	101.2
全国計	18,840	107.0	1,537	222,409	102.3	23,068	107.9	139,914	97.4	414,457	101.2

(注)総合計には、すべての車種を含む。その他は表示以外の県の合計。

月刊「JU中販連」 令和8年5月号 第55巻 第5号 通巻614号

令和8年4月30日発行 (毎月1回月末発行)

定価300円 送料80円

発行 一般社団法人日本中古自動車販売協会連合会 (JU中販連)

(会員あて1部の購読料は会費に含まれます)

編集人 武藤 孝弘

東京都渋谷区代々木3-25-3 あいおいニッセイ同和損保新宿ビル10階 (〒151-0053) 電話03(5333)5881